

組合だより

発行所
岡山大学職員組合
 〒700-8530 岡山市津島中 2-1-1
 電話 086-252-1111 (代)
 (内線) 7168
 直通・FAX 086-252-4148

第 3 2 号

4 月 1 日
2 0 0 2 年

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

緊急学習会 40名あまり参加

『法人化に伴う人事制度』

専修大学晴山一穂先生を囲んで

非現業から現業へ

調査検討会議の最終案が非公務員型に落ち着きそうな動向の紹介ののち、かりに公務員型になったとしても、今のままの公務員ではないことに注意する必要があるという指摘がありました。非現業から現業へ移行するのです。

会や評議会の権限重視など特別の身分保障がなされます。

これに対して現業公務員の場合には、郵政、林野、造幣の場合のように、国公法が原則適用され、労働条件については、労働基準法が、労働関係については、国営企業等労働関係法、労組法、労調法が適用されることになるという。要するに、教特法の適用が外されるということが指摘されました。

公務員型ならば



晴山一穂先生紹介

専修大学教授、行政法専攻。とくに独立行政法人関係の研究に早くから取り組み、この問題についての著書が多数あります

かりに公務員型になった場合どうかという点、それは非現業から現業へということ、労働協約の締結、就業規則や給与規定の策定が必要になり、さらに、労基法上の労資協約の締結が必要になるということが指摘されました。

非公務員型ならば

非公務員型になれば、自動的に公務員の身分を失うことになる見通しで、経過的に従来の権利義務は継承されるというものの身分の不安定化は免れません。

労働協約その他の締結の必要は、公務員型とほぼ同じだということです。そこで今後の取り組みとして重要な点は、可能な限り教特法と同じ内容を就業規則に盛り込むこと、職員も専門職として、公務印南の身分保障を確保すること、だと指摘されました。

座標軸

教職員の非公務員型化の危険が切迫している。その危機感、日本全国多数の国立大学教職員のなかで高まっている。各大学の教職員組合の新聞を手にとってみる。どの紙面にも緊迫感溢れるヘッドラインが躍っている。「激動する北大、かつてない大学をめぐる動き」(ほくだい、2/1)、「公務員身分を剥奪か!」(国立大学法人化問題情勢緊迫)(京大職組新聞、2/26)、「3・1緊急集会に150名参加!国立大学教職員の『公務員化』を阻止しよう」(東職ニユース、3/1)。「国立大学だけでない。公立大学でも、同じ危機感をもって事態が受けとめられている。」(大学が大きな曲がり角に団結の力で外圧をはね返そう)(大阪市大教職

組新聞、3/13) **メールリングリスト** reform を見てみる。役員会に権限を集中、評議会・教授会の権限をさらに縮小、学外者参加の運営協議会の実権掌握と監視、学長選考などから教員投票を事実上排除、身分保障のいつそうの後退、文科省による大学統制システムの堅持(千葉大独立法情報速報:特集最終報告案、3/12)などの項目が目に見えて飛び込んでくる。「営利の精神に満たされた警察国家 調査検討会議最終報告案を読む」(3月15日づけの「独立行政法人反対首都圏ネットワーク事務局」の発表した文書の表題である。また7単組(北大、新潟、千葉、東京、茨城、佐賀、宮崎)委員長が長尾圭主査宛、最終報告前に交渉するよう求める「要望書」への連名を募集した「3月22日成立目標時刻12時30分頃『人間の鎖』で文科省を取り巻こう」(独法化阻止全国ネット)事務局長豊島耕一)という提案もなされ、当日170人が参加し文科省を包囲した。「大学職員の非公務員化が検討される中重要なのは、組合の強化、拡大!」(東大、工職ニユース、3/1)という呼びかけに、今こそ応えるときだと思

(い)

組合加入を呼びかけましょう!

50%以上の代表者を目指して組合を広げましょう。
 4月からの新入職員に組合加入を呼びかけましょう。
 この機会にまだ組合に入っていない職員にも、
 あらためて加入を訴えましょう。

全大教全国教研集会

岡山大学で開催 9月6～8日

全大教全国教研集会を岡山大学職員組合で引き受けることを岡山大学職員組合教研部会と執行委員会が決定。いよいよ3月26日、全大教全国教研岡大実行委員会が始動を始めました。

かねてから、全大教から全国教研集会開催地引き受けの要請が、岡山大学職員組合にきていました。

現在進行中の大学改革について、全国情報を結集して学習し、また岡大職組からも全国に問題を投げかけようという積極的な企画をもって、開催地を引き受けようということになりました。

5月末の学内教研集会、6月末に行われる島根大学での中四国教研集会で報告を行った後、9月6～8日の三日間、岡山大学で開催される全国教研集会に臨もうということになりました。

テーマおよび岡大職組の取り組み

全国教研集会のテーマは、大学改革に伴う諸問題を、全国情勢は全大教本部から、そして各大学の実情は各大学職組から報告してもらって討議することになると思います。

これに向けて岡大が

らもレポートを立てて参加することを3月26日の実行委員会で決定しました。

レポートは次のような視点から取り組みます。すなわち、国立大学の非公務員型法人化をも睨んで、新しい大学像（大学憲章）と新しい組合像（組合憲章）づくりを進める。そして、そうした新しい大学像・組合像からみて、岡山大学および組合の現状の到達点と課題を明らかにする。

そして、この取り組みを通じて大学内に学部職種を超えた交流の場を創出し、かつ、過半数組合への展望を獲得しようとの狙いです。

こうした観点のもとに、次のようなレポートづくりに取り組むことを話し合いました。

教職員の方々のこのテーマなら参加してもいいとお考えの方は、是非、組合事務所までご連絡下さい。

レポートA
大学憲章
レポートB
組合憲章論

レポートA
大学憲章
レポートB
組合憲章論

レポートC

岡山大学論
大学運営
研究
教育
教員評価
教育組織
アメニティ
大学と地域

レポートD

教育学部再編
レポートE
独法化と職員

レポートF

職種別
教員
事務職員
技官
看護師
図書館職員
定員外職員
女性教職員

ご協力と積極的参加を

これらの問題について、関心をお持ちの方は、是非、ご参加下さい。ご意見をお寄せ下さるだけでも、もちろん歓迎です。

また、当日は、様々な分科会が開かれますので、興味のある分科会へのご参加をお待ち

しています。今年の分科会はまだ未定ですが、岡大職組は、いじょうのレポートをもって、全国教研へ参加しようと考えています。

ちなみに、昨年は「独立行政法人化問題」「教員養成系大学・学部のあり方」などが分科会のテーマでした。

レクレーションも

あります。皆で歌を歌いましょう！

なお、当日は、全国の教職員を迎えて懇親会を行います。その時、岡大職組は、全国からの参加者を合唱で迎えたいと思っています。

これから、選曲をし（ちなみに現在の候補曲は「イマジン」「サトウキビ畑」ですが、皆さんと相談して決める予定）、週1回くらいの練習を行っていく予定です。指導者は、教育学部大学院連合博士課程在籍・中国二期会会員の加藤晴子さんです。

やさしい素敵な方です。歌ってみてもいいなと思われ方は、美声の方も、はづれる方も、元気のいい人も、元気を出したい人も、是非、ご参加下さい。岡大の教職員であれば組合員でなくとも構いません。

特に、職員の方の積極的な参加をお待ちしています。

散歩道

吹く風が暖かい。水がぬるんでいる。花が一斉に咲き始めた。ユキヤナギ、レンギョウ、ユスラウメ…。街が鮮やかな彩りに包まれる。暖かい光に嫩葉の緑が瑞々しく照り映える。

そして、桜、桜、桜。十重二十重に咲き誇る桜の競演は、私たちの心をそぞろにしてやまない。

さらにまた、月明かりに照らし出される夜の艶麗な風情をどう表現したらいいのだろう。

灯火ヲ背ケテ
惜シム春夜ノ月
花ヲ踏ンデハ
同ジク惜シム
少年ノ春

古人もまた、この至福の瞬間を限りなく惜しんでいる。おぼろにかすむ月明かりが、花を踏む生々しさを柔らく包み込んで美しい。私は、花を踏んだりはしない。月明かりに照らし出された黒い土を選んで歩く。

月影を
踏めば桜が
散りかかる

明日は、嵐か花吹雪か。春宵の一刻、私は英気を養う。(k)

「歌う会」合唱メンバー募集

岡大職組は、現在、「歌う会」のメンバーを募集しています。全大教全国教研集会（9月6～8日）に集う仲間を「歌う会」の合唱でお迎えしましょう。「イマジン」「さとうきび畑」などでオペレッタふうの合唱をという候補が今のところ挙がっています。

合唱指導は加藤晴子（連合大学院院生・中国二期会会員）です。

第1回会合：4月10日 17:30 職員組合室で。曲目、練習日程などを決めます。本学の教職員であれば、組合員かどうかは問いません。
連絡先 岡山大学職員組合 電話：7166（内線） 電話/Fax 086-252-4148
E-MAIL: ODunion@mb4.seikyounet.jp